

事業コンセプト／計画概要

職・遊・住、すべての人を支える生活環境

渋谷駅中心地区の都市基盤整備を完成させる重要なプロジェクトで、渋谷駅南西部に広がる約2.6ヘクタールの敷地を一体的に整備する再開発事業です。桜丘地区の玄関口を整備することで、渋谷の街全体の魅力向上に貢献します。2018年10月に東京都知事より権利変換計画の認可を受け、2019年1月より解体工事に着手し、2023年度の竣工に向けて工事を推進中です。



計画建物のイメージ

◆ 駅と周辺市街地をつなぐ歩行者ネットワークの整備

- 歩行者デッキをはじめとする立体的な歩行者ネットワークを整備し、地形の高低差や鉄道、幹線道路による地域の分断を解消
- 駅と周辺市街地の回遊動線を構築し、歩行者の利便性・快適性・安全性の向上を図る

◆ 駅周辺の道路と地下車路ネットワークを円滑化

- 駅周辺の自動車交通を円滑にすべく、都市計画道路補助第18号線、都市計画駐車場、駅周辺の開発地区と接続する地下車路ネットワークを整備

◆ 国際競争力の強化に資する都市機能の導入

- 商業、業務、居住機能に加え、外国企業や外国人ビジネスマンなどのニーズに対応した国際医療施設、サービスアパートメント、子育て支援施設を導入
- 産学連携のもと、渋谷発のベンチャーを育成する起業支援施設を整備



アーバンコアB1階のイメージ

◆ 防災機能の強化

- 帰宅困難者の一時滞在施設、一時滞留スペース、防災備蓄倉庫を設置
- 自立性の高い電源として、コージェネレーションシステムと非常用発電機を導入

建物の概要

事業主体 渋谷駅桜丘口地区市街地再開発組合
所在 東京都渋谷区桜丘町1番地、2番地、3番地、及び4番地、8番地の各地内、外
用途 事務所、店舗、住宅、サービスアパートメント、起業支援施設、教会、駐車場等
敷地面積 約16,970㎡
延床面積 約254,830㎡
竣工予定 2023年度
デザインアーキテクト 早稲田大学教授・建築家 古谷誠章

●A街区概要 (A1棟、A2棟)

用途 事務所、店舗、国際医療施設、起業支援施設、駐車場等
敷地面積 約8,073㎡
延床面積 約184,800㎡
階数 地上39階、地下4階
高さ 約179m

●B街区概要 (B棟)

用途 住宅、事務所、店舗、サービスアパートメント、子育て支援施設、駐車場等
敷地面積 約8,479㎡
延床面積 約69,200㎡
階数 地上29階、地下2階
高さ 約133m

●C街区概要 (C棟)

用途 教会等
敷地面積 約418㎡
延床面積 約830㎡
階数 地上4階
高さ 約17m

開発計画 位置図

